



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 中部日本放送株式会社

上場取引所 名

コード番号 9402

URL https://hicbc.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉浦 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 高城 浩史

(TEL) 052-259-1322

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,946	0.8	343	△21.2	609	△2.7	348	10.1
2022年3月期第2四半期	15,823	25.6	436	—	626	—	316	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 20百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △68百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	13.21	—
2022年3月期第2四半期	12.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	73,138	59,505	79.5
2022年3月期	76,297	59,935	76.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 58,123百万円 2022年3月期 58,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,870	0.3	1,360	△25.0	1,890	△14.3	1,100	△16.3	41.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	26,400,000株	2022年3月期	26,400,000株
2023年3月期2Q	1,653株	2022年3月期	1,580株
2023年3月期2Q	26,398,401株	2022年3月期2Q	26,398,470株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 参考資料	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)
当第2四半期 連結累計期間	15,946	343	609	348
前第2四半期 連結累計期間	15,823	436	626	316
増減率(%)	0.8	△21.2	△2.7	10.1

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、経済活動に持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢によるエネルギー資源や原材料価格の高騰に、急激な円安の進行が加わり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

また、当社グループに影響を与える広告市況につきましても、不透明な景況感を受け、停滞気味に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、159億46百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面では、営業利益は3億43百万円（前年同期比21.2%減）、経常利益は6億9百万円（前年同期比2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億48百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

	メディアコンテンツ関連		不動産関連		その他	
	売上高 (百万円)	営業損失(△) (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
当第2四半期 連結累計期間	14,529	△308	953	587	464	64
前第2四半期 連結累計期間	14,468	△112	858	533	495	14
増減率(%)	0.4	—	11.0	10.1	△6.4	335.4

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈メディアコンテンツ関連〉

「メディアコンテンツ関連」は、柱となるテレビスポット収入が減少した一方で、キー局からの番組制作受託によりテレビタイム収入が増加したことから、売上高は145億29百万円（前年同期比0.4%増）と微増となりました。

利益面では、主にテレビスポット収入の減少が影響し、3億8百万円の営業損失（前年同期は1億12百万円の営業損失）となりました。

〈不動産関連〉

「不動産関連」は、前期2月に取得した名古屋栄地区不動産の賃貸収入などにより、売上高は9億53百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は5億87百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

〈その他〉

ゴルフ場事業、保険代理業などで構成される「その他」は、売上高は4億64百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は64百万円（前年同期比335.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて31億58百万円減少し、731億38百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が10億29百万円、法人税等の納税や配当金の支払などにより現金及び預金が8億93百万円、保有株式の時価下落などに伴い投資有価証券が6億66百万円、減価償却などにより有形及び無形固定資産が4億40百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて27億28百万円減少し、136億32百万円となりました。これは主に、流動負債の「その他」が8億78百万円、未払費用が7億59百万円、未払法人税等が6億75百万円、繰延税金負債が2億37百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4億30百万円減少し、595億5百万円となりました。これは主に、保有株式の時価下落に伴いその他有価証券評価差額金が5億29百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、第2四半期連結累計期間において、不透明な景況感を受け、テレビスポット収入が低調に推移しており、第3四半期以降においても厳しい状況で推移することを見込むことから、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2023年3月期の通期連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円、%)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率	前期実績
売上高	33,930	32,870	△1,060	△3.1	32,757
営業利益	1,820	1,360	△460	△25.3	1,814
経常利益	2,230	1,890	△340	△15.2	2,204
親会社株主に帰属する当期純利益	1,300	1,100	△200	△15.4	1,313

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,188	10,295
受取手形及び売掛金	7,588	6,558
有価証券	100	-
棚卸資産	50	136
その他	2,201	2,201
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,129	19,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,189	33,016
減価償却累計額	△19,470	△19,880
建物及び構築物(純額)	10,719	13,136
機械装置及び運搬具	18,522	18,868
減価償却累計額	△14,265	△14,159
機械装置及び運搬具(純額)	4,257	4,708
土地	16,263	16,263
建設仮勘定	3,449	75
その他	1,541	1,722
減価償却累計額	△1,286	△1,312
その他(純額)	254	409
有形固定資産合計	34,944	34,593
無形固定資産		
のれん	864	836
その他	618	556
無形固定資産合計	1,482	1,392
投資その他の資産		
投資有価証券	16,792	16,125
繰延税金資産	1,528	1,437
その他	538	511
貸倒引当金	△118	△113
投資その他の資産合計	18,740	17,960
固定資産合計	55,168	53,947
資産合計	76,297	73,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	230	212
1年内償還予定の社債	20	20
未払費用	3,468	2,708
未払法人税等	913	237
契約負債	400	443
引当金	150	176
その他	2,156	1,277
流動負債合計	7,338	5,075
固定負債		
社債	50	40
引当金	47	48
退職給付に係る負債	2,216	2,017
資産除去債務	79	80
繰延税金負債	2,403	2,166
長期預り保証金	4,174	4,174
その他	50	28
固定負債合計	9,022	8,557
負債合計	16,361	13,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	52,681	52,634
自己株式	△1	△1
株主資本合計	54,654	54,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,669	4,139
退職給付に係る調整累計額	△798	△624
その他の包括利益累計額合計	3,870	3,515
非支配株主持分	1,411	1,382
純資産合計	59,935	59,505
負債純資産合計	76,297	73,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	15,823	15,946
売上原価	9,062	9,231
売上総利益	6,760	6,715
販売費及び一般管理費	6,324	6,371
営業利益	436	343
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	180	233
その他	37	33
営業外収益合計	222	271
営業外費用		
減価償却費	30	-
固定資産除却損	0	3
支払利息	0	0
その他	0	2
営業外費用合計	32	6
経常利益	626	609
特別利益		
関係会社株式売却益	-	18
特別利益合計	-	18
特別損失		
投資有価証券評価損	-	3
特別損失合計	-	3
税金等調整前四半期純利益	626	623
法人税等	290	248
四半期純利益	335	375
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	316	348

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	335	375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△597	△529
退職給付に係る調整額	193	174
その他の包括利益合計	△404	△354
四半期包括利益	△68	20
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87	△5
非支配株主に係る四半期包括利益	19	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、文化交通株式会社は、当社が保有する全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディア コンテンツ 関連	不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,468	858	15,327	495	15,823	—	15,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	77	94	254	348	△348	—
計	14,485	935	15,421	750	16,171	△348	15,823
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△112	533	421	14	435	0	436

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益435百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益436百万円と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディア コンテンツ 関連	不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,529	953	15,482	464	15,946	—	15,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	77	92	170	263	△263	—
計	14,544	1,030	15,575	634	16,209	△263	15,946
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△308	587	278	64	343	0	343

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益343百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益343百万円と調整を行っています。

3. 参考資料

(株)CBCテレビ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第2四半期 (2022年3月期 第2四半期)	当第2四半期 (2023年3月期 第2四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
テレビ収入	10,793	11,054	261	2.4
タイム収入	3,483	3,899	415	11.9
スポット収入	6,618	6,425	△192	△2.9
その他収入	692	729	37	5.4
クロスメディア収入	310	316	5	1.8
イベント収入	218	251	33	15.2
ハウジング収入	412	388	△23	△5.7
グループ請負収入	80	70	△10	△12.9
合計	11,815	12,081	265	2.3

(株)CBCラジオ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第2四半期 (2022年3月期 第2四半期)	当第2四半期 (2023年3月期 第2四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
ラジオ事業収入	1,066	1,093	27	2.6
タイム収入	637	722	84	13.2
スポット収入	420	363	△57	△13.6
その他収入	7	8	0	6.6
受託事業収入	186	—	△186	△100.0
合計	1,253	1,093	△159	△12.7